

平成 22 年度
第 48 回 応用物理学会北海道支部総会 議事録

日時：平成 23 年 3 月 9 日（水）16:00～17:00

場所：北海道大学 大学院工学研究院 物理工学系会議室（A3-62 室）

出席者（順不同、敬称略）：

高橋 庸夫（H22 支部長）、橋詰 保（H22 会計監査）、阪井 賢一（H22 千歳幹事）、
篁 耕司（H22 旭川幹事）、熊野 英和（H23 庶務幹事）、原 真二郎（H22 庶務幹事）、
松田 健一（H22 会計幹事）、笹倉 弘理（H23 会計幹事）、笹木 敬司（H22 本部理事）、
海住 英生（H23 会計幹事） 以上 10 名

欠席者は全て「支部長に委任」

事務局： 川勝 深雪（H22 まで）、岩崎 美樹（H23 から）

議事録作成者：

原 真二郎（H22 庶務幹事）

・総会に先立ち、第 14 回支部学術講演会発表奨励賞受賞者 3 名（1 名欠席）に対し表彰式
を挙行し、賞状および記念メダルを授与した。（欠席者に対しては、後日引き渡し予定）

（敬称略）

水江 千帆子 （北大院情報科学・量子集積センター）

刈田 量宏 （千歳科技大）

江国 晋吾 （北大電子研） 欠席

・支部事務局の川勝深雪さんが、H22 一杯で退任されるのに伴い、後任候補としてご紹介
のあった岩崎美樹さんを後任者とする旨、本日の総会において全会一致で了承された。な
お後任者に対しては、高橋支部長および庶務幹事・原により、3 月 2 日（水）、高橋教授室に
おいて事前に面談が実施された。

議題

1. 平成 22 年度事業報告及び決算報告について（資料 1-1、1-2）

事業報告：

・資料 1-1（1～10 ページ）に沿って、H22 の事業報告を行った（原）。

決算報告：

・資料 1-2（11 ページ）に沿って、H22 の決算報告を行った（松田先生）。

・50 万円を本部からの引当金収入があって収支のバランスが取れているが、これ
がないとどこが減るのか？公益法人化された後の会計は？（笹木先生）

以上について、全会一致で承認された。

2. 平成 23 年度事業計画及び予算案について（資料 2-1、2-2）

事業計画：

・資料 2-1（12 ページ）に沿って、H23 の事業計画を報告した（原）。

予算案：

・資料 2-2 (13 ページ) に沿って、H23 の予算案を報告した (松田先生)。H23 は 70 万円の取り崩しを計上。当初 50 万円で本部に申請したが、本部事務局より「赤字になる可能性があるならば、多めに計上して予算案を作成すべき」との指摘があり、70 万円の取り崩しとした。(電気学会北海道支部からの補助金 10 万円は、現時点では未定のため、予算案には含まず。)

以上について、全会一致で承認された。

3. 支部役員の改選について (資料 3)

・資料 3 (14 ページ) に沿って、新役員が紹介された。

4. 報告事項

・本部の状況について、高橋支部長と笹木理事から報告された。

- (1) 東海支部などから、「支部の賛助会員からの会費の使用について、もっと支部の自由度を高めて欲しい」といった要望が出されている。
- (2) 次期役員体制は代議員会を経て承認される。代議員の形態が変更される予定。理事と代議員の 2 本立ては解消される (公益法人では認められないため)。支部長と支部選出の本部理事の形態のあり方についても、今後変更に向けて議論されている。(例えばもし本部理事を支部長が兼任し、本部の要職から外れた場合、業務負担は軽減されるが、支部からの意見は通りにくくなるのでは? といった懸念も生じ得るので、一長一短があると予想される。)
- (3) 会計年度は「総会から総会まで (総会において、決算・予算が決定するため)」との本部からの回答があったとのこと。従って会計年度については、公益法人化後に合わせる必要等、議論の必要があるかもしれないとご報告頂いた (笹木先生)。

5. その他 (別添資料)

・学術講演会における参加登録費の徴収について、下記の案の通り了承された。様々なオプションや選択肢を設けると抜け道ができ収入として見込めなくなるため、初年度は以下の案通りとした。

(現行)

講演料：

学会会員： 無料

非会員 (学生・大学院生)： 無料

非会員 (一般)： 5,000 円

(但し、共著者に本会会員がいれば無料とする。)

(改定案)

参加登録費：

応物学会・光学会会員 1,000 円

学生 (会員・非会員問わず) 1,000 円

一般 (非会員) 5,000 円

（上記、登壇者・聴講者を含む全参加者に適用。引き換えに予稿集をお渡しします。）

（当日、現金にて徴収。引き換えに領収書を発行します。クレジットカード等、他の支払い方法には応じられませんので、必ず現金をご用意下さい。）

（理由）

支部の財政難のため。本年 2011 年度予算までは「取り崩し」分の計上によりしのいでいるが、次回の応物全国までの残り 2 年間（2012 年度、2013 年度）は、完全に赤字。

（説明）

現状の投稿規定では、「注 1 発表者のうち少なくとも 1 名は会員であること」であるので、共著者に会員が必ず含まれる必要があることになり、非会員の講演料は本質的に発生することはない、と「全員無料」となります。

したがって例えば、「非会員の非登壇者で単なる聴講者」からも「5,000 円」を徴収できないので、少なくとも予稿集の印刷費として、「必要経費分 1,000 円」だけを登壇者・聴講者の全参加者から徴収できるよう、上記の改定案を提案致したい。

名称も「講演料」ではなく、「参加登録費」に変更する。

・総会終了後、庶務幹事業務および支部事務局業務の引き継ぎを行った。（熊野先生・川勝さん・岩崎さん・原）

以上